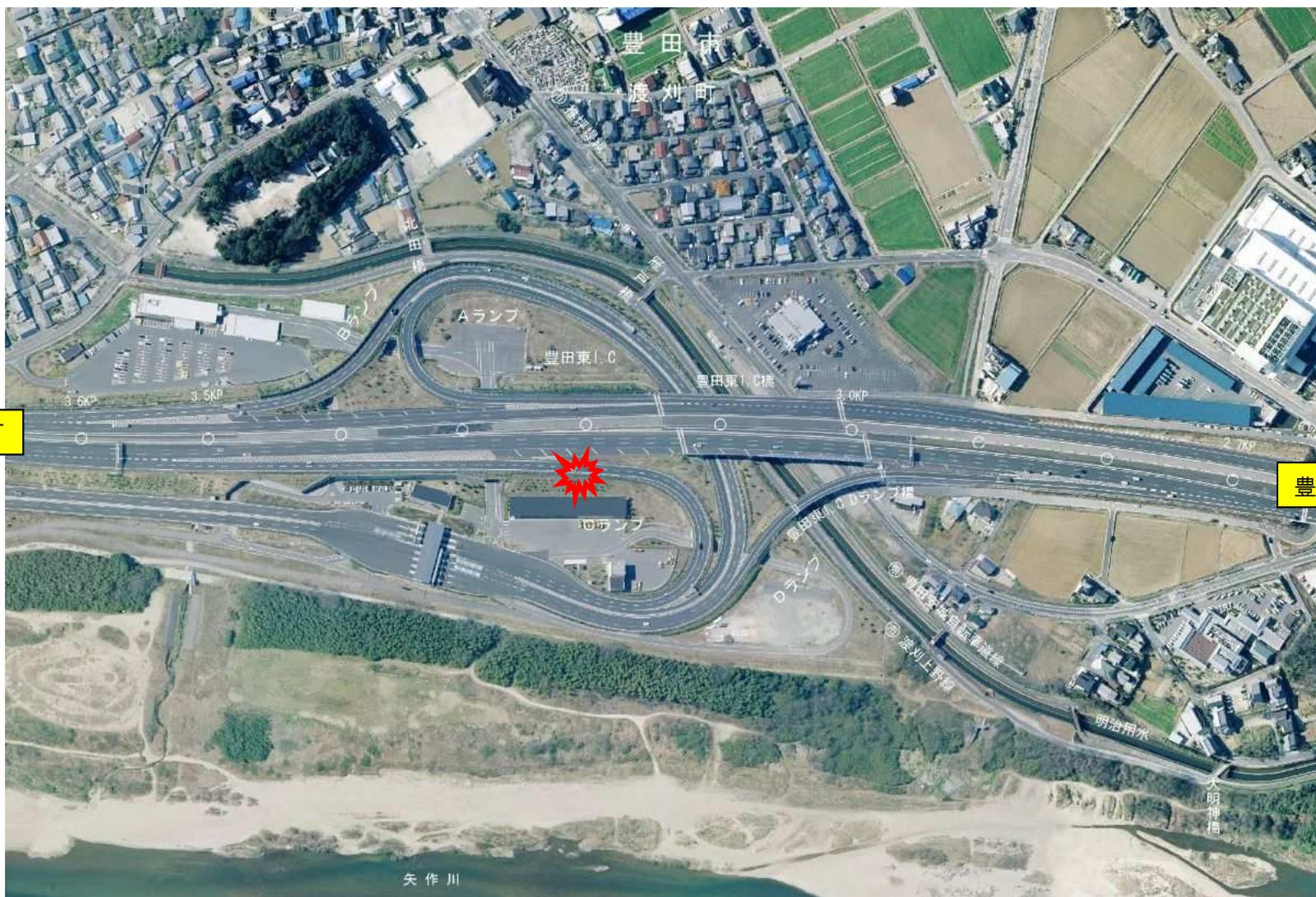


1. 発生場所 伊勢湾岸自動車道 豊田東IC C340mp付近（下り線 3.2kp付近）
2. 発生日時 令和2年10月8日（木） 9時37分頃
3. 被災状況
  - ・怪我無し
  - ・第三者被害なし
  - ・道路損傷（ガードレール2枚、支柱1本）
  - ・2tダンプ 左ライト部・左側バンパー損傷
4. 概要 豊田東ICから現場に向かう際、豊田東ICのCランプ340mp付近にて2tダンプ がスリップし左路肩部のガードレールに接触し停車したものの。

5. 位置図(発生場所) 伊勢湾岸自動車道 豊田東IC C340kp付近 (本線kp:⓪3.2kp)



## 6. 損傷写真

車両損傷状況



道路損傷状況



タイヤ溝異常なし 4.0mmあり

車検規定2.4mm

## 7. 原因

- ①2車線ランプの線形の悪いカーブの場所で加速をして車線変更をした為に、スリップしハンドル操作を誤ってしまった。
- ②雨で路面が滑りやすい状態だった。

## 8. 対策

- ①2車線ランプの線形の悪いカーブの場所では、ランプ流入前に車線を決めて進行し、カーブの線形の悪い場所では車線変更はしない。
- ②速度をおさえて、急なハンドル操作はしないよう、慎重な運転を心がける。

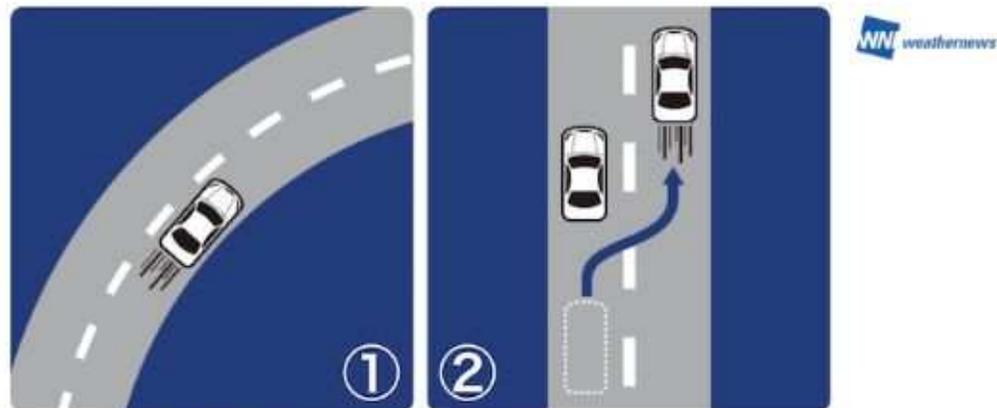
# ■緊急安全大会

NEXCO

## 雨の日の事故原因と言えば…

とある調査によると、雨の中でもっとも多い事故は、スリップによる事故なんだそうです。

多くは、こんなシチュエーションでスリップ事故が発生しています↓



1. 速度が高いままカーブに進入
2. 直線での追い越し時の急加速
3. 轍の水たまりに進入

▼ 中日本

## 原因はグリップ力の低下



普通の道路ではタイヤのグリップ力が効くところでも、路面がぬれるとその力が失われ、滑りやすくなります。

もともと滑りやすいようなマンホールや道路の継ぎ目はもちろん、道路上の水たまりの上を走行すると、タイヤと道路の間に水の膜が発生し、『ハイドロプレーニング現象』が起きるため、スリップするわけです。

### スリップ事故を防ぐには

スリップ事故の多くは、グリップ力が低くなった状態で走行中に急ハンドル・急ブレーキがきっかけとなって発生します。

そうならないように、

- ・いつもより速度を落とす
- ・車間を広くする

以上の2点をまず心がけてください。

現在の車には多くの最新技術が盛り込まれており、スリップを防ぐ安全テクノロジーが普及していますが、だからと言って、過信することなく、安全運転を心がけましょう。